【行政の課題】

行政だけでは完璧には守れない。

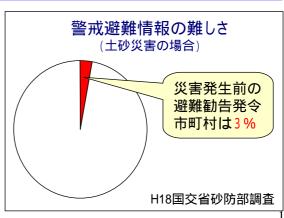
17



水害対応に関する不安

滋賀県流域治水検討委員会(行政部会)で出された意見より

- 現実に災害、また多くの降雨があった場合、対応できるかというのは非常に 懸念をしている。
- 近年水害がなく、行政・住民ともに水害経験がないので、いざというときについてきは不安を感じている。
- 年配の方から水害経験を聞くが、実際に最近は水害が起きていないので、 わからない状態で模索している。
- 警戒水位になると避難勧告を出すことになっているが、住民経験から「その位の水位では全然大丈夫だ」など、なかなか動いてもらえない。
- 県が設定した警戒水位と経験的に伝わっている水位とに差がある。警戒水位になっても、空振りの恐れがあり避難勧告を出すべきか判断に困る。





水害対応に関する不安

災害発生直前 の対策	災害の警報等の伝達	予報·警報を関係者に伝達·周知 予報·警報の住民への広報
	住民の避難誘導	危険箇所の監視・警戒活動 避難誘導・準備情報・勧告・指示
	災害未然防止活動	水防活動の実施
情報の収集: 連絡及び通信 の確保	災害情報の収集・連絡	災害初動期における情報の収集·分析 県·国への報告 災害情報の伝送
	通信手段の確保	通信手段の確保・通信統制の実施
活動体制の確 立	活動体制の配備	災害体制の配備
	応援体制の要請	県への応援の要請・広域応援体制の確立
		关考\「大津市地域防災計画、災害応急対応計画

参考)「大津市地域防災計画」災害応急対応計画

滋賀県流域治水検討委員会(行政部会)で出された意見より

- 担当を増やせない中で、 取り扱う情報がどんどん増え、 対応に困る。
- 情報伝達が統一できておらず、 避難勧告・避難指示が迅速に 出せない。





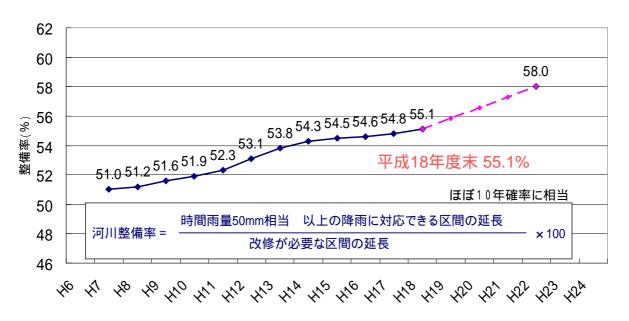


【河川管理者(県)の課題】

河川整備は長い年月がかかる

滋賀県の河川整備率の推移

一級河川で10年確率の治水安全度を確保するには今後60年以上を必要 (残事業費6000億円/年間予算95億円(H9~H18の平均値)/年)



21

河川整備が進まない状況例





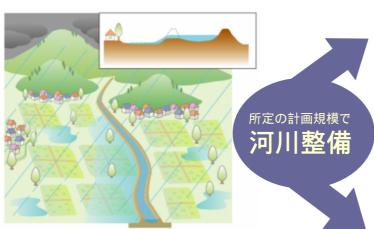
■ 鉄道や幹線道路の橋梁を横断する箇所や、人家密集地での河 川改修には時間と費用がかかる。

【河川管理者(県)の課題】

河川整備の限界が理解されていない。

23

低下する氾濫の頻度、そして、大きくなる被害



■ 河川整備が進んだ場合にも、 施設能力以上の洪水(超過洪水)が 発生すると、被害が出る。

